

簡易保険加入者の会機関誌

あかるい家庭

●一般財団法人 簡易保険加入者協会の
業務概要(令和5年度事業計画)／1

●決算及び予算の概要／2

協会事業全体の損益状況

災害見舞事業の損益状況

●公益事業トピックス／3

ラジオ体操インフォメーションガイド

ダイジェスト版の作成

【のびのびー!ラジオ体操チャンネル
「らじch」】のご紹介

●災害見舞事業トピックス／4

令和4年度都道府県別災害見舞加入状況

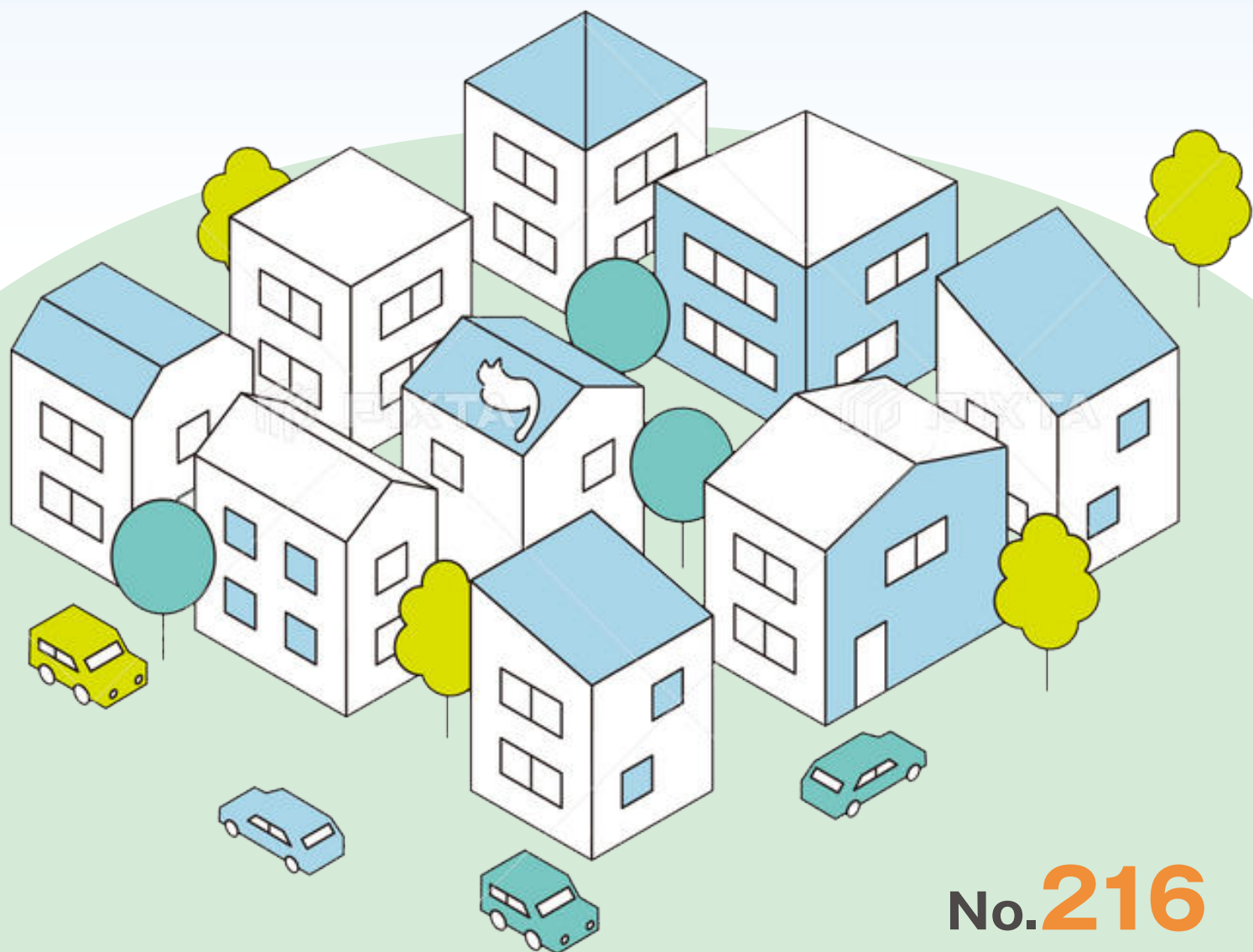
令和4年度見舞金の支払状況

●簡易保険加入者の会トピックス／5

●かんぽ生命トピックス／6

学資保険「はじめのかんぽ」の改定

子育てに役立つ情報・サービスの提供



No.216

一般財団法人 簡易保険加入者協会の業務概要 (令和5年度事業計画)

当協会は、平成25年4月から、一般財団法人へ移行するとともに、災害見舞事業を認可特定保険業として継承し、旧財団法人からの継続事業であるラジオ体操・みんなの体操普及推進等の公益事業とともに運営してきました。

本年度においても、引き続き、簡易生命保険・かんぽ生命保険加入者のための簡便で低廉な相互救済サービスを提供するとともに、ラジオ体操等の普及を推進すること等により、より一層、簡易生命保険加入者等と地域住民の皆さまの福祉増進に寄与していくこととしています。

災害見舞事業

本年度においても、簡易生命保険加入者等の皆さまの相互救済サービスとして、より一層、お客さまサービスの向上、災害見舞の普及等に取り組んでいきます。

1 中期経営計画の推進

令和5年度は、「第4次中期経営計画(2023~2025)」の初年度となります。引き続き、お客さまに選ばれ長くお付き合いいただけるよう努めて参ります。

2 営業推進態勢の強化

新たなお客さまの開拓と継続勧奨活動を積極的に展開するとともに、代理店が活動しやすい環境の整備を引き続き進めます。

3 お客さまから信頼される業務取扱いの推進

継続的に見舞業務における業務知識やノウハウの蓄積に取り組んで、業務遂行の正確性・迅速性・効率性の向上を通じてお客さまからの信頼を更に高めていく取組みを推進します。

4 支払管理態勢の充実

適時・適切に見舞金がお支払いできるよう、罹災の受付から支払までの進捗管理を強化するとともに、特に大規模広域災害発生時の対応体制の更なる整備を図るなど、より一層の支払管理態勢の充実に取り組めます。

5 重要事項への取組み

コンプライアンス等は、引き続き当協会の重要事項として位置付け、お客さま保護や業務品質・サービス向上の観点から、より一層その徹底に取り組めます。

(1) コンプライアンスの徹底

- ア コンプライアンスの推進態勢の強化
- イ 事故防止の徹底、基本動作の定着、適切な募集活動の定着などコンプライアンスの実践

(2) お客さま対応の充実強化によるCSの向上

- ア 「お客さまの声」に対する迅速・適切な対応とそれに基づく不断の改善
- イ 協会本部、地方本部及び代理店に設置している「お客さまサービス向上会議」等の運営の充実や研修の充実等
- ウ コールセンター機能の充実

(3) 監査の充実強化

- ア 認可特定保険業としてのリスクの種類・程度に応じた効率的かつ実効性のある内部監査の実施
- イ 被監査部門から制約を受けることない監査の実施と理事長・経営会議への監査結果報告

公益事業等

1 ラジオ体操・みんなの体操の普及推進(公益事業)

- (1) ラジオ体操・みんなの体操の普及推進を図るため、地方自治体と連携した健康で明るいまちづくり(健康タウン)支援、子ども会や小学校教員及びスポーツ推進委員等を対象としたラジオ体操指導者の育成、高齢者福祉施設でのみんなの体操等実演会への講師派遣、ラジオ体操に関する調査研究やNPO法人全国ラジオ体操連盟等関係機関への助成などを実施します。
- (2) 広く公益に資するため、生命保険・損害保険に関する調査研究及び研究助成を実施します。

2 簡易保険加入者の会の事務処理

簡易保険加入者の会の会議を地方本部別に県・地方連合合同で開催するとともに、その機関誌「あかるい家庭」を発行します。

決算及び予算の概要

協会事業全体の損益状況

令和4年度の当協会全体の損益は、収益15,534百万円、費用12,980百万円で2,554百万円の利益を計上しました。

(単位:百万円)

年度	項目	収益	費用	当期正味財産増減額 (当期純剰余)	正味財産期末残高 (剰余金残高)
令和3年度 (決算)		16,668	15,741	926	7,605
令和4年度 (決算)		15,534	12,980	2,554	10,159
令和5年度 (予算)		14,378	13,455	923	11,082

注1 単位未満切り捨てのため、合計額が一致しない場合があります。

注2 本表の損益は、公益会計基準(平成20年基準)に基づき取りまとめた「実施事業等会計」(ラジオ体操普及活動事業等公益事業を取りまとめる会計)、「その他会計」(認可特定保険業者として災害見舞事業を取りまとめる会計)、「法人会計」(間接管理費等を取りまとめる会計)の3会計全体の損益です。

災害見舞事業の損益状況

令和4年度の災害見舞事業の損益については、収益面において、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う営業活動の低迷等により掛金収益が減少しましたが、費用面において、令和4年台風14号や令和4年3月福島県沖地震等の自然災害の発生に伴う見舞金の支払いはあったものの、ここ数年と比較し大規模災害が少なかったことや掛金収益に連動する募集手数料等の経費の減少等もあり、25億72百万円の利益となりました。

(単位:百万円)

年度	項目	収益	費用	当期正味財産増減額 (当期純剰余)	正味財産期末残高 (剰余金残高)
令和3年度 (決算)		16,664 (掛金収益 15,320)	15,729 (支払見舞金 2,852)	935	6,321
令和4年度 (決算)		15,532 (掛金収益 14,575)	12,960 (支払見舞金 3,252)	2,572	8,894
令和5年度 (予算)		14,376 (掛金収益 14,040)	13,398 (支払見舞金 5,388)	978	9,872

注 単位未満切り捨てのため、合計額が一致しない場合があります。

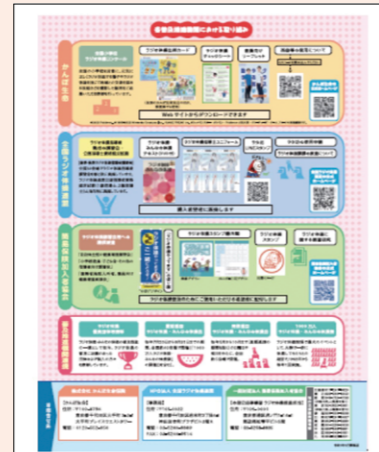
公益事業トピックス

ラジオ体操インフォメーションガイドダイジェスト版の作成

ラジオ体操の普及推進は、株式会社かんぽ生命保険、NPO法人全国ラジオ体操連盟、簡易保険加入者協会などで連携して行っているところですが、どの組織がこういった取組みを行っているのかにフォーカスした共通パンフレット「ラジオ体操インフォメーションガイドダイジェスト版」(A4版1枚両面)を作成し、代理店を通じて、協会の災害見舞トータルサポートのお客様へのPR等に活用しております。



ラジオ体操インフォメーションガイドダイジェスト版(表面)イメージ



ラジオ体操インフォメーションガイドダイジェスト版(裏面)イメージ

【のびのびー!ラジオ体操チャンネル「らじch」】のご紹介

当協会で作成した「見て、聴いて、動いて覚えるラジオ体操第1」入門編、ラジオ体操の効果、冷え性にフォーカスした動画など様々なラジオ体操動画をYouTubeで配信しています。
ラジオ体操を日々の生活習慣に取り入れて、健康で丈夫な身体づくりにお役立てください。



1 知られざるラジオ体操の効果
ラジオ体操の効果と姿勢改善にフォーカス



2 冷え性の方必見!! スキマ時間に最適な改善法
20代、30代、40~50代の年代別に紹介



3 立位、座位、後ろ向き立位のラジオ体操第一
これまでにない後ろ向き(立位)を加えた3人バージョンの、工夫した内容のラジオ体操第1通し



4 ラジオ体操第1の習得に役立つヒント
二人組で練習、道具を使って練習など、ラジオ体操第1習得に役立つポイントや練習方法の例を紹介

上記のほか、カウントや吹き出し、文字テロップを多くした動画や、個々人の特性や環境などに合わせてパターンを選んで練習できるラジオ体操動画も配信しております!

当協会HPのラジオ体操普及推進のページ、またはらじchチャンネルQRコードからご覧ください。

簡易保険加入者協会 ラジオ体操



災害見舞事業トピックス

令和4年度 都道府県別災害見舞加入状況

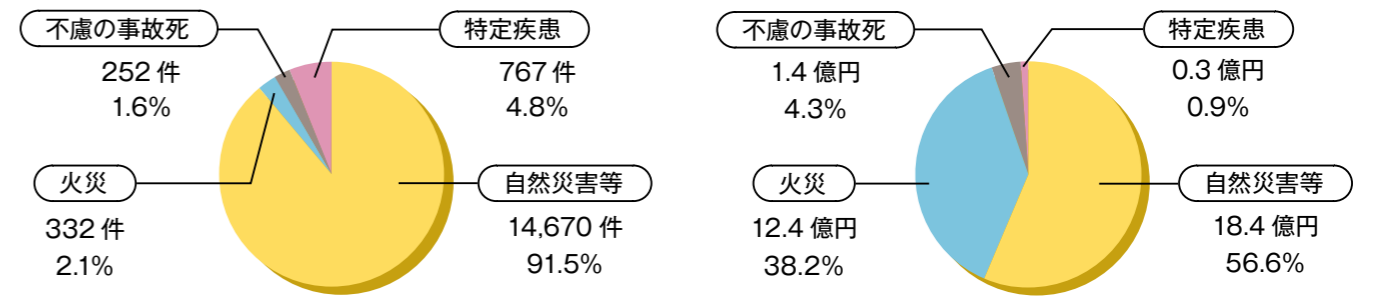
(単位:件)

都道府県名	加入件数(件)	0	20,000	40,000	60,000	80,000	100,000
北海道	52,976						
青森県	17,174						
岩手県	3,547						
宮城県	4,642						
秋田県	10,485						
山形県	6,567						
福島県	10,643						
茨城県	23,838						
栃木県	17,399						
群馬県	16,312						
埼玉県	34,256						
千葉県	18,500						
東京都	75,527						
神奈川県	45,567						
新潟県	25,099						
富山県	12,725						
石川県	11,007						
福井県	15,509						
山梨県	5,979						
長野県	13,979						
岐阜県	10,559						
静岡県	28,906						
愛知県	48,030						
三重県	9,706						
滋賀県	5,708						
京都府	14,814						
大阪府	44,841						
兵庫県	26,716						
奈良県	6,710						
和歌山県	7,850						
鳥取県	5,796						
島根県	5,270						
岡山県	30,561						
広島県	31,257						
山口県	22,204						
徳島県	13,274						
香川県	7,133						
愛媛県	23,408						
高知県	9,782						
福岡県	38,014						
佐賀県	7,288						
長崎県	12,269						
熊本県	13,703						
大分県	13,557						
宮崎県	13,955						
鹿児島県	21,642						
沖縄県	671						

(単位:万件)

(件)	0	20	40	60	80	100
合計	895,355					

令和4年度 見舞金の支払状況



令和4年度は16,021件、32.5億円の見舞金を支払いました。前年度と比べ、大規模地震、大型台風等の災害の影響により、支払金額で4億円程増加しました。

簡易保険加入者の会トピックス

簡易保険加入者の会は、会員の意思を簡易生命保険・かんぼ生命保険の制度に反映させるなど会員共同の利益と福祉の増進を図るため、簡易生命保険・かんぼ生命保険事業等に対する意見・要望を関係機関に提供したり、会員相互の意思疎通と親睦を図るなどの活動を行っています。

令和4年度においては、県・地方連合の簡易保険加入者の会合同会議を集合により開催（一部は書面により開催）しました。この中で出された意見・要望等については、(株)かんぼ生命保険、日本郵便(株)等関係機関に提供しました。また、同年9月に同会の機関誌「あかるい家庭」を発行するなどの活動を行いました。

令和4年度の活動状況

- 都道府県・地方連合合同会議の開催
- 「あかるい家庭」（第215号）の発行
- 「あかるい家庭（お知らせ版）」の発行・会員への送付

【令和4年度 簡易保険加入者の会での主な意見・要望等】

<p>【かんぼ生命保険関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・所謂、「かんぼ問題」に関しては、現在、関係各社の懸命な自浄努力により、大いに改善されたものと評価しておりますが、現在、かんぼ生命保険において、今後の営業活動において、特にこだわって取り組んでいることがありましたら、教えていただきたい。 ・かんぼ生命の資料に、「日本郵便株式会社から1万3千人の意向を受けれて・・・郵便局の窓口は幅広い金融商品を提供することにより」とありますが、幅広い金融商品とは具体的にあるのか。 ・以前は地域のラジオ体操に子供も参加していたが、今は親が参加時に事故に遭うのが心配ということで減っている状況がある。かんぼ生命は民営化したのだから、そういう時に万一事故に遭っても補償してもらえるような新商品を出せないか。 ・今の若い人のラジオ体操を見てると、ラジオ体操を知らないのかと思う。 ・企業向けに長期の養老保険、大口一括加入の保険商品等の開発をして欲しい。	<ul style="list-style-type: none">・3年やっていない「子供会のラジオ体操」の今後に危惧しており、神社、公園、老人会へのラジオ体操参加者に粗品の配布等で報えることは出来ないか。 ・最近の週刊雑誌にかんぼ生命の自爆営業についての記事があり、以前から年賀状やギフトのノルマなどマイナスイメージが多いため、かんぼ生命のマイナスイメージを払拭して欲しい。 ・かんぼ生命の更新制度は素晴らしい。終身保険でも同様のサービスはあるのか。 ・郵便局は昔から地域に密着した触れ合いがあったが、郵便局やかんぼ生命はスーパー、コンビニのように地域に寄り添ってほしい。アマゾン等のように時代に合った形が必要。5年後、10年後を見据えて取り組んで欲しい。 ・イベント等で、ラジオ体操講師の派遣依頼の期限はいつ頃か。 ・ラジオ体操を子ども達がやらなくなったのは、教育委員会が影響しているのか。
---	---

<p>【日本郵便関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・メールの普及等により、若者のみならず、中高年層においても「年賀状離れ」が進んでいる。是非、年賀状文化が永遠に続いていくようなビジョンや施策を検討いただき、展開していただくことを要望します。 ・一般郵便の土曜日の配達がなくなくなったが、選挙郵便や新聞については、重要性も鑑みて土曜日も配達していただきたい。 ・郵便ポストを新規に設置していただきたいが要望はどこに出せばよいか。高齢者が多くポストまでの距離があり不便である。 ・配達員に差出郵便物を預ける制度があるが、とても良い制度と思っている。玄関に「差出ハガキ」があるなど書いて置けば配達員が持つて行ってくれるなどの制度があれば高齢者は助かると思う。 ・小包などの取扱量が減少しているというが、他民間の業者は活況を呈している。その違いはどこからきているのか。郵便局も他社に追いついてもらいたい。 ・孫が小学生の頃、小学校から交通事故防止のハガキをもらったことがある。全国の小学2、3年生に「交通事故防止」や「オレオレ詐欺防止」の啓発をしていただくのはどうか。絵手紙でもよいが小さいうちから郵便の仕組みに慣れさせる施策を全国展開したらどうか。そのハガキに加入者の会のPRをワンフレーズ入れていただけると有難い。 ・ゆうパックはヤマト、佐川と競争して厳しくと聞いているが利益はどうかの。 ・「未来の郵便局」の説明の中で、デジタル面での取り組みの話があったが、高齢化社会が進んでおり機械が苦手な方が多いので、そういう方が不便にならないように配慮してほしい。 ・自宅（相模原市）の近くのポストが3力所廃止になり不便になった。利用者の立場としてはぜひ残していただきたい。 ・郵便配達の人との運転の仕方、早く配達したいのが歩道を走ったりとかかて、轍かれそうになったことがある。もう少し優しく走って頂きたい。 ・週末に郵便の配達がなくって、郵便物が届くのが遅くなっているが、この先、週一回の配達に変っていくのではないかとこの話があるが、実際どうかの。 ・坂井市「日本一短い手紙」で郵政の皆さまにはお世話になっており、心より感謝申し上げます。坂井市の街づくり協議会でも積極的にラジオ体操を実施しています。本日のご縁を大事にしていきたい。坂井市でも担当窓口は健康増進課と生涯学習課の二つあるかと思います。 ・ネットの普及より郵便収益は減っているか? SDGSもあって年賀は出さなくなっているのでは。アマゾンは主にヤマト運輸で配達時間帯等荷物の運送状況も把握できるがゆうパックはどうか。北海道から沖縄まで一律料金なのは、素晴らしいシステムです。 ・富士山の山頂でも配達しているのですか。・2024年問題の影響は。アマゾンの荷物が大きいわりには荷物自体が小さく無駄ではないか。出荷元の問題であるが効率が悪く感じる。 ・郵政グループは難しい事をやろうとしている感があるが、収益面はどうかの。民営化として持続的に発展していくのか。 ・郵政事業が民営化されていますが、諸外国の状況はどのようなのでしょうか。 ・小荷物等の不在配達依頼方法について <ol style="list-style-type: none">1 音声案内のためお年寄りには操作しにくい。 2 繋がりにくい。 以上 民間業者と同様であり差別化とわかり易さを維持するために、1の連絡先は集配局の担当課とする。地元郵便局との信頼が確保できる。 ・記念切手について（キャラクターも含む）	<ul style="list-style-type: none">1 作成しただけ売れているのか。残量が多いと赤字になるのではないか。 2 スポンサーを募集して発行する。 <ul style="list-style-type: none">・現在も切手の収集家はいますか? ・最近の週刊雑誌にかんぼ生命の自爆営業についての記事があり、以前から年賀状やギフトのノルマなどマイナスイメージが多いため、かんぼ生命のマイナスイメージを払拭して欲しい。 ・土曜日の普通郵便の配達を復活して欲しい。商品のお届け希望のはがきが届かないと商品の発送が出来ない。 ・北海道からの郵便が、連休が入ると10日～14日かかったことがある。コロナ対策で土曜日の配達を辞めたことと、郵便局の窓口取扱時間が短くなったことにより、郵便が受け取れないと悲痛な声がある。 ・最近、政府から地方自治体の業務を郵便局で行わせるということが発表された。その件で、説明をお願いしたい。 ・全国全ての郵便局でできるのか。 ・貯金、小包、振込にしろ、民間の業者が沢山出入りしている。うちの会社にもヤマト運輸が、朝夕、何かないかと聞いている。ハガキや封筒を送る時は、郵便局が扱うものと思っていた。最近は、ヤマト運輸との競争が激しくなってきている。 ・専門の方が協議していると思うが、民間に負けないよう頑張って欲しい。 ・かんぼ生命も同じ。民間の保険会社は頻繁に訪問してくる。人が減ったのか、以前より訪問の回数が減ってきている。頑張ってください。 ・郵便局員の見守りサービスの展開は、地域に根差した郵便局として、高齢者が多い地域、特にこのようなサービスは重要だと思う。まさに地域に根差した活動として、力を入れていただきたい。 ・民間は、儲かるところはいくが、地域に目が届いていないと思う。高く評価しているので、今後も力を入れてもらいたい。 ・ふるさと小包は、企業として恩恵を受けている。その中で、どうしても郵便局は手続きに非常に時間がかかるという弱点がある。システムは、民間が進んでいると思う。 ・郵便局は、未だこのレベルなのかと思う。もう少し、システムを良いものにして欲しい。 ・重要なことだと思う。地域貢献のためスピードアップを図って欲しい。 ・日本郵政グループのカーボンニュートラルの実現を目指した取組みは、日本、世界にとって大事なことだと思う。 ・2021年～2025年度の取組みで、集配車両等の電気自動車化、非常に良いことだと思う。 ・郵便局で率先して取り組んでいただくことで、全国展開ができるし、電気の充電スタンドも国民からすれば大変有難い。 ・これからも積極的に推進していただきたい。 ・伊万里郵便局は古い建物になっている。 ・地域の皆さんが困っている。 ・田舎の郵便局は非常に大事だと思っている。レターパックは可愛い。ひ孫、孫に郵送する時重要している。有難い。送金手数料が高いと思う。 ・振替払込みで料金受取人の場合、現金を持って行けば手数料を取られる。通帳からだ手数料を取られない。矛盾を感じる。
--	--

<p>【協会関係】</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、ラジオ体操が出来ない子供たちが多くと聞いている。その対策として、まず、指導する側の小学校の先生方がラジオ体操をしっかりとして学んでいただく環境づくりが大切であると考えが、この点に関しては、どのようにお考えになるか。 ・「あかるい家庭」のP3の一番下に「ラジオ体操を神社・公園等で毎日行っている方へ粗品等の支援をされたい」とあるがどうなっているのか。私もラジオ体操をやっている	<ul style="list-style-type: none">が、地域の高齢者が毎朝20名ほど集まりラジオ体操をやっているので、その方々に渡せるものがあるとよい。 ・加入者協会で作成して配布いただいている「のぼり旗」は目立って分かりやすく非常に好評だが、雨風に当たるので旗の端の部分が劣化して傷みやすい。もう少し長持ちさせられるよう工夫願いたい。
--	---

<ul style="list-style-type: none">・ラジオ体操の普及推進のための健康タウン構想の推進ラジオ体操講習会（自治体と連携した健康であかるいまちづくり支援）は、富山県、石川県は実施されているが福井は施策計画もない。（一級指導士のLINEグループで実施日程を知った。）そこで福井市教育長と副市長に話したが、担当は健康増進課又は生涯学習課になるのか? ・ラジオ体操は最近では子供よりお年寄りの参加が多い。65歳からインフルエンザ予防接種券が郵送されるが、例えばラジオ体操カードを同封し普及する等はどうか。 ・核家族化しているので子供と一緒に過ごすことが大切ではないか。ラジオ体操を通じて地域密着及び健康増進も含めて有効だと思われる。 ・平均寿命88歳だが、健康寿命とは10歳も差がある。健康増進は子供の頃からやっているラジオ体操が一番。“ラジオ体操で伸ばそう健康寿命”をこの石川県から発信したい。私は県の老人クラブ連合会会長をやっているが、健康と自然災害に備える災害見舞制度の普及も重要だと思う。他社の火災保険との差別化は。また普及拡大は。 ・ラジオ体操は毎日やっている。子供たちはカードのスタンプを押してほしい。先日も登山の際、愛知県の方から足腰が強くてどうしてそんなに登れるのかと聞かれ、毎日ラジオ体操を継続しているからと答えた。ラジオ体操は全身運動で毎日継続することでより効果がある。 ・ラジオ体操効果のリーフレットは科学的データに基づき効果があるという研究がなされている。かんぼ加入者に限定せずこの科学的データを活用して国民運動的に広くPRしてほしい。例えばNHKラジオ体操放映時にこのリーフレットでラジオ体操の効果を周知すればどうか。 ・ラジオ体操指導士として現場で感じていること。 <ul style="list-style-type: none">・先般、小学校のグラウンドで乳幼児から高齢者300名が参加した講習会があったが、ラジオ体操を通じて地域の絆が出来て良かった。病院施設でも高齢者は普段上がらない腕が上がる等、また、新人社員研修でも集団としての団結力アップとなり参加者に喜ばれている。このようにラジオ体操はエビデンスと共に不思議な力がある。子供たちが将来大人になって継続していく中でまた子供に伝えるなど、良き伝統（習慣）を次世代	<p>につないでいけるものである。</p> <ul style="list-style-type: none">・かんぼの宿について <ul style="list-style-type: none">・大手旅行会社とタイアップして観光でなく保養型のプランを作り、宿泊先はかんぼの宿として、のんびりゆったり型の旅行プランを作成し高齢者をターゲットとする。 ・開催時に出た意見等がどう活かされているか見える化をお願いしたい。 ・公益事業はラジオ体操に特化しているが、文化・芸術、地域貢献、SDGs等地球規模の自然保護について検討されたい。 ・3年やっていない「子供会のラジオ体操」の今後に危惧しており、神社、公園、老人会へのラジオ体操参加者に粗品の配布等で報えることは出来ないか。 ・当会役員の年齢が高齢化しているため、若返りを図ってはどうか。他管内はどうか。 ・加入者への有益な情報の提供を引き続きお願いしたい。 ・簡易保険加入者協会という名称も現在の「かんぼ生命」と整合性を持たせる意味でも変更をすればいいのではないか。 ・主催：新見市、共催：新見ライオンズクラブ（5万円）、&新見市内郵便局（5万円）、10万円の予算を組み開催している「新見市ラジオ体操講習会」では、毎年大変お世話になっています。おかげさまで、この講習会を楽しみにしている方々も増えて、毎朝ラジオ体操をしている会社や地域もできています。ありがとうございます。図々しいことを言うようですが、今はコロナ禍で指導者及びアシスタントの方との会食は禁止されていますが、感染症が終息しましたら、是非、指導者並びにアシスタントの人と前日の夕食と終了後の昼食会を行いたいと思います。そもそもできることなら、せめて指導者及びアシスタントの会食費を予算化していただければありがたいのですが、難しいでしょうか? ・加入者の会の規約に各県ごとに総会を開催することとなっている。よければ、各県ごとに開催していただければ手近な議題・問題が提案されて良いと思う。他
---	--

かんぼ生命トピックス

学資保険「はじめのかんぼ」の改定

2023年4月に「はじめのかんぼ」（学資保険（H24））を改定しました。昨今の教育費用の高まりやお客さまからのご要望を受けて、「はじめのかんぼ」について、お子さまの教育資金の準備がしやすくなるよう保険料率を変更し、**戻り率^{*1}が100%を超えるプランを実現**しました。

※1 お払い込みいただく保険料総額に対する、受け取れる学資金の割合

子育てに役立つ情報・サービスの提供

学資保険の改定にあわせて、2つのWebサイトを開設しました。

学資保険特設サイト

学資保険の特徴、教育資金の必要額や準備の方法、先輩パパ・ママの声などの学資保険の活用についての情報を提供します。

子育て支援サイト

子育て世代のみなさま向けに、親子で一緒に作れるレシピやお子さまが楽しめる塗り絵の提供など、親子で楽しんでいただけるコンテンツを提供し、親子での豊かな時間を育むお手伝いをいたします。

ご存じでしたか？日本のパパ・ママに選ばれ続けて学資保険保有契約件数 No.1！^{※2,3}

学資保険は1971年、進学率の上昇と教育費の高騰による将来的な教育資金の準備に役立つ保険ニーズの高まりを受けて、郵便局から業界初の保険商品として創設されました。それから約半世紀に渡り、たくさんのお子さまの成長を見守り続けてきました。2023年3月末現在で約260万件^{*3,4}のご契約をお預かりしております。これからも、全国の身近な郵便局・コンサルタント社員を通じて、お客さまの人生を、守り続けます。

※2 出典：保険研究所「インシュアランス生命保険統計号（令和4年度版）」
※3 現在販売していない学資保険の種類も含まます。
※4 かんぼ契約に限ります。



学資保険特設サイトはこちら



子育て支援サイトはこちら

かんぽの宿に関するお知らせ

「かんぽの宿」は、令和4年4月に日本郵政株式会社から株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント、株式会社シャトレーゼリゾート八ヶ岳、株式会社ノザワワールド及び日田天領水の宿株式会社の各社へ譲渡されました。

加入者の会の会員の皆さまには、令和4年7月以降これまで見舞契約証及び見舞継続証に合わせて、「特定宿泊施設利用提携カード」をお送りさせていただいております。

下表の特定宿泊施設を利用される場合に特定宿泊施設利用提携カードを宿泊先に提示していただくと、利用者1名につき一泊当たり500円（消費税込み。一回の利用につき同伴者3名まで利用可）を割引させていただきます。

特定宿泊施設の予約等、ご利用に当たっては各特定宿泊施設に直接お問い合わせください。

地域	宿泊施設名	(旧名称)	住所	電話番号	天	露	貸	日	客	犬	車	EV	P
東北	亀の井ホテル 一関	かんぽの宿 一関	岩手県一関市厳美町字宝電147-5	0191-29-2131	●	●	●	●	●		●	●	200
関東	亀の井ホテル 大洗	かんぽの宿 大洗	茨城県東茨城郡大洗町磯浜町7986-2	029-267-3191	●	●	●	●	●		●	●	100
	亀の井ホテル 潮来	かんぽの宿 潮来	茨城県潮来市水原1830-1	0299-67-5611	●	●	●	●	●		●	●	100
	亀の井ホテル 塩原	かんぽの宿 塩原	栃木県那須塩原市塩原1256	0287-32-2845	●	●	●	●	●		●	●	70
	亀の井ホテル 喜連川	かんぽの宿 栃木喜連川	栃木県さくら市喜連川5296-1	028-686-2822	●	●	●	●	●	●	●	●	100
	亀の井ホテル 長瀬寄居	かんぽの宿 寄居	埼玉県大里郡寄居町末野2267	048-581-1165	●	●	●	●	●		●	●	100
	亀の井ホテル 九十九里	かんぽの宿 旭	千葉県旭市仁玉2280-1	0479-63-2161	●	●	●	●	●		●	●	200
	亀の井ホテル 鴨川	かんぽの宿 鴨川	千葉県鴨川市西町1137	04-7092-1231	●	●	●	●	●	●	●	●	90
	亀の井ホテル 青梅	かんぽの宿 青梅	東京都青梅市駒木町3-668-2	0428-23-1171	●	●	●	●	●		●	●	94
北陸	亀の井ホテル 福井	かんぽの宿 福井	福井県福井市洲町43-17	0776-36-5793				●			●		53
東海	亀の井ホテル 熱海	かんぽの宿 熱海(本館)	静岡県熱海市水口町2-12-3	0557-83-6111	●	●					●	●	85
	亀の井ホテル 熱海別館	かんぽの宿 熱海(別館)	静岡県熱海市水口町2-13-77	0557-83-6111	●	●	●	●			●		50
	亀の井ホテル 伊豆高原	JPRリゾート伊豆高原	静岡県伊東市八幡野1104-5	0557-51-4400	●	●	●			●			67
	亀の井ホテル 焼津	かんぽの宿 焼津	静岡県焼津市浜当目1375-2	054-627-0661	●	●			●		●	●	60
	亀の井ホテル 知多美浜	かんぽの宿 知多美浜	愛知県知多郡美浜町奥田砂原39	0569-87-1511	●	●			●	●	●		73
	亀の井ホテル 鳥羽	かんぽの宿 鳥羽	三重県鳥羽市安楽島町1200-7	0599-25-4101	●	●	●	●	●		●	●	80
近畿	亀の井ホテル 彦根	かんぽの宿 彦根	滋賀県彦根市松原町3759	0749-22-8090	●	●	●	●			●	●	70
	亀の井ホテル 富田林	かんぽの宿 富田林	大阪府富田林市龍泉880-1	0721-33-0700	●	●	●	●	●		●	●	150
	亀の井ホテル 大和平群	かんぽの宿 大和平群	奈良県生駒郡平群町上庄2-16-1	0745-45-0351	●	●			●		●		80
	亀の井ホテル 奈良	かんぽの宿 奈良	奈良県奈良市二条町3-9-1	0742-33-2351	●	●			●	●	●		88
	亀の井ホテル 紀伊田辺	かんぽの宿 紀伊田辺	和歌山県田辺市目良24-1	0739-24-2900	●	●			●		●	●	80
	亀の井ホテル 有馬	かんぽの宿 有馬	兵庫県神戸市北区有馬町1617-1	078-904-0951	●	●			●		●	●	94
	亀の井ホテル 赤穂	かんぽの宿 赤穂	兵庫県赤穂市御崎883-1	0791-43-7501	●	●			●	●	●	●	100
	亀の井ホテル 淡路島	かんぽの宿 淡路島	兵庫県淡路市富島824	0799-82-1073	●	●			●	●	●	●	60
中国	亀の井ホテル せとうち光	かんぽの宿 光	山口県光市室積東ノ庄31-1	0833-78-1515	●			●			●	●	55
四国	亀の井ホテル 観音寺	かんぽの宿 観音寺	香川県観音寺市池之尻町1101-4	0875-27-6161	●	●	●	●	●		●	●	80
	亀の井ホテル 高知	かんぽの宿 伊野	高知県吾川郡いの町波川1569	088-892-1580	●	●			●		●		150
九州	亀の井ホテル 玄界灘	かんぽの宿 北九州	福岡県北九州市若松区大字有毛2829	093-741-1335	●	●			●		●	●	70
	亀の井ホテル 柳川	かんぽの宿 柳川	福岡県柳川市弥四郎町10-1	0944-72-6295	●	●	●	●	●		●	●	100
	亀の井ホテル 阿蘇	かんぽの宿 阿蘇	熊本県阿蘇市一の宮町宮地5936	0967-22-1122	●	●			●		●	●	156
東北	いわき藤間温泉ホテル湊	かんぽの宿 いわき	福島県いわき市平藤間字柴崎60	0246-39-2670	●	●	●	●	●		●	●	150
甲信越	シャトレーゼホテル石和	かんぽの宿 石和	山梨県笛吹市石和町松本348-1	055-262-3755	●	●	●	●	●	●	●		134
九州	日田天領水の宿	かんぽの宿 日田	大分県日田市中ノ島町685-6	0973-24-0811	●	●		●			●	●	135

▼下記のアイコンがある施設は、その設備が整っています。

天…天然温泉 露…露天風呂 貸…貸切風呂 日…日帰り入浴 客…露天風呂付客室 犬…ペット同伴可客室 車…バリアフリー対応客室 EV…電気自動車(EV)充電器 P…駐車場利用可能台数
※1 大洗…露天風呂のみ温泉(運び湯) ※2 奈良…展望風呂付客室(露天風呂ではありません) ※3 熱海(別館)・伊豆高原・赤穂…半露天風呂

注1 設備・温泉等については、各施設で状況が異なりますので、詳しくは直接ご利用の宿泊施設へお問い合わせください。

- 例) ・バリアフリー対応客室の設備
・家族風呂の介護機能設備(有無を含む)
・日帰り入浴時間及び日帰りプランの営業有無
・ペット同伴可客室の利用条件等

注2 温泉は、源泉に加水、加温しています。(一部は、運び湯、真湯を使用)

注3 レジオネラ菌の発生を防ぐため、循環ろ過、塩素系薬剤を注入し、衛生管理に努めています。(一部はかけ流しです。)

注4 亀の井ホテル観音寺は、日帰り利用は毎週木曜日が原則定休日となります。

簡易保険加入者の会機関誌 あかるい家庭 第216号

発行日：令和5年9月1日

発行所：一般財団法人簡易保険加入者協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政福祉琴平ビル5F TEL:03-3502-4700 URL:https://www.fpp.or.jp

「あかるい家庭」について

当協会では、昭和35年に設立されて以来、簡易保険加入者の会の事務を行ってきていますが、その一環として同会の機関誌である「あかるい家庭」を発行してきています。この「あかるい家庭」では、文字どおり「明るい家庭」を築く上での一助にしたい、さらには安心社会の実現に寄与したいという思いで、簡易生命保険・かんぽ生命保険加入者向けの情報を提供しています。

当協会の主力事業として、簡易保険加入者の会の会員の相互救済事業として災害見舞事業を行っており、簡易生命保険・かんぽ生命保険ご加入者の皆さま、ご加入されていた皆さまに一人でも多く参加していただくよう活動を続けています。

詳しくは、当協会のホームページをご覧ください。